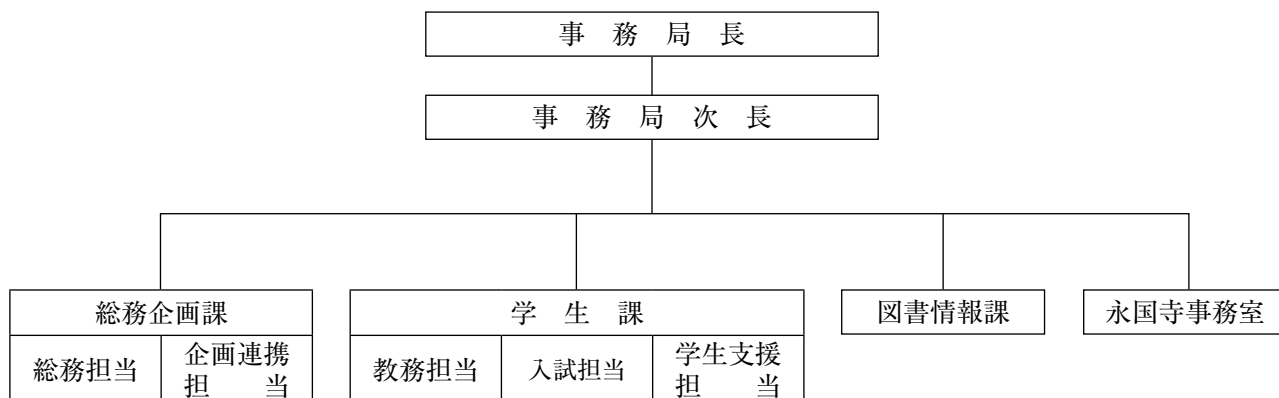
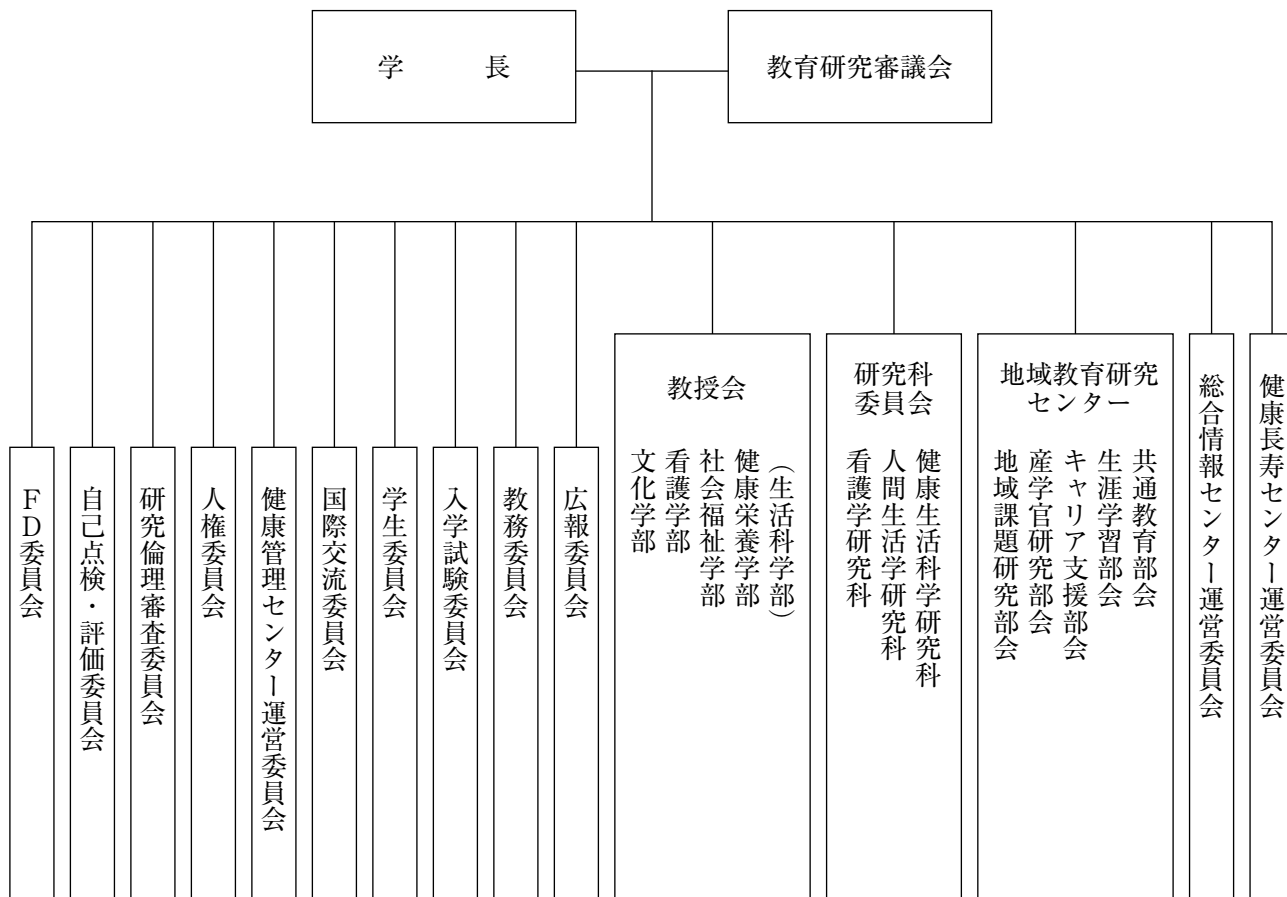


### 3 組織及び教職員

#### 1 組織（平成25年度）

##### (1) 組織図



## (2) 教職員構成

(平成 25 年 4 月 1 日現在)

区 分	教 員								事務局職員				合 計
	学 長	副 学 長	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	計	局 長	事 務 職 員	そ の 他	計	
現 員	1	2	44	24	14	34	2	121	1	30	1	32	153
内 訳	学 長	1						1					
	文化学部			11	6	3	0	0	20				
	看護学部			16	9	3	23	0	51				
	社会福祉学部			7	5	5	7	0	24				
	健康栄養学部			6	2	3	3	2	16				
	地域教育研究センター			6	1	0	0	0	7				
	総合情報センター			0	1	0	1	0	2				

## (3) 平成25年度新規採用教員数

	学 長	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	計
学長	0						0
文化学部		0	0	0	0	0	0
看護学部		1	0	0	4	0	5
社会福祉学部		0	1	1	0	0	2
健康栄養学部		1	0	0	0	0	1
地域教育研究センター		0	0	0	0	0	0
合 計	0	2	1	1	4	0	8

## 2 教 員 (平成25年度末)

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位 (大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
学 長	南 裕子	1942	カリフォルニア大学サンフランシスコ校院看護学部博士課程修了	看護学博士		

## ○健康栄養学部

職 名	氏 名	生年	最終学歴	学 位 (大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教 授	川村美笑子	1949	東北大学大学院農学研究科博士後期課程中途退学	農学博士(東北大学)	基礎栄養学、応用栄養学	・食環境と脳機能・微量栄養素と栄養修飾・食物摂取・栄養適応と生活習慣病
教 授	中村 富子	1957	大阪大学大学院医学研究科修了	博士(保健学) (大阪大学)	臨床栄養学、臨床実践栄養学、臨床栄養学実習、臨床栄養学臨地実習	・大腸腫瘍発生に及ぼす食事と運動の関連
教 授	逸見 幾代	1948	愛媛大学大学院連合農学研究科博士課程修了	博士(農学) (愛媛大学)	栄養教育論、栄養教育論実習、学校栄養指導論、学校栄養教育実習、ライフステージ栄養学、応用栄養学実習	・地球環境要因、食品の栄養成分変動、各ライフステージの健康に及ぼす影響に関する研究 ・地域の生活習慣病要因の探索と予防に関する栄養教育・行動変容への展開に関する研究
教 授	村上 尚	1960	熊本大学大学院医学研究科中途退学	博士(医学) (徳島大学)	人体の構造と機能、疾病論、生体科学実験・実習	・生活習慣病の細胞生物学的解析
教 授	渡邊 浩幸	1960	岩手大学大学院連合農学研究科修了	博士(農学) (岩手大学大学院)	食品学、食品機能学	・エネルギー代謝調節機能を有する食品の意義 ・栄養機能探索 ・食品の保存と加工
教 授	和田 安彦	1960	秋田大学大学院医学研究科修了	博士(医学) (秋田大学)	健康栄養学基礎、健康情報論実習、公衆衛生学、地域健康論、地域医療論、環境衛生学実習、疫学(看護)、介護論、食と介護(実習)、臨床医科学、卒業研究	・コホートを用いた循環器疾患・生活習慣病の疫学 ・高齢者の延命治療と死生観 ・口腔衛生における噛みごたえのある食品の活用 ・災害時における水の確保と非常食の活用 ・災害に備えたアスベスト対策 ・給食施設等の衛生管理と労働衛生 ・Wolfram 症候群の実態調査・職業性ストレスと過労死 ・エネルギー制限による老化制御・患者背景情報の活用と長期保管
准教授	荒牧 礼子	1958	高知女子大学大学院 人間生活学研究科 修士課程修了	修士(生活学)(高知女子大学大学院)	公衆栄養学、公衆栄養学実習、地域公衆栄養学臨地実習	・栄養表示に関する研究 ・料理書籍の出版数の推移からみた食生活スタイルに関する研究 ・勤労者世帯の生活習慣と指導効果に関する研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	川口 順子	1948	九州芸術工科大学大学院芸術工学研究科芸術工学専攻博士課程修了	博士(芸術工学) (九州大学)	服飾造形実習 家庭科教育法	・高齢者の衣生活支援 ・色彩のユニバーサルデザインに関する研究
講師	島田 郁子	1964	高知女子大学大学院人間生活学研究科修了	修士(学術)(高知女子大学大学院)	給食経営管理	・イスラム教徒の断食による生活リズムの変化とその修復 ・クックチルシステムの有効性に関する研究 ・高齢者の給食喫食率向上の試み-肉軟化剤等による検討-
講師	西岡 道子	1969	鳥取大学大学院連合農学研究科修了	博士(農学) (鳥取大学)	調理学、調理学実習	・加熱調理における魚肉の調理変化について ・真空調理における魚肉のビタミン <sub>B12</sub> 含量
講師	廣内 智子	1977	高知県立大学大学院人間生活学研究科修了	修士(学術) (高知県立大学)	臨床栄養学実習、臨床栄養学臨地実習	・アレルギー物質を含む食品に関する表示について ・災害時要援護者を含む避難者の栄養・食生活支援について
助教	田中 守	1982	川崎医療福祉大学大学院医療技術学研究科健康科学専攻博士後期課程修了	博士(健康科学) (川崎医療福祉大学大学院)	生化学実験、基礎栄養学実験、応用栄養学実習等	・食物アレルギー ・食物依存性運動誘発アナフィラキシー ・食物由来成分の抗アレルギー作用
助教	沼田 聡	1984	徳島文理大学大学院人間生活学研究科食物学専攻博士前期課程修了	博士(学術) (徳島文理大学)	給食経営管理実習、給食経営管理臨地実習、環境衛生学実習、地域実践栄養学臨地実習	・自己抗体の高感度測定法の開発
助教	水島 直子	1972	高知女子大学大学院人間生活学研究科修了	修士(学術) 高知女子大学	臨床栄養学実習、臨床栄養学臨地実習	・生活習慣病に対する栄養管理・食事療法について ・生活習慣病患者に対する栄養指導における地域連携体制の構築
助手	川村 真美	1955	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		食品学実験、食品衛生学実験	・食品の機能性評価について
助手	彼末 富貴	1960	高知女子大学家政学部食物栄養学科卒業		調理学実習、生体科学実験・実習	・土佐の伝統食

## ○文化学部文化学科

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	青木 晴男	1949	早稲田大学大学院文学研究科博士課程3年次退学	文学修士 (早稲田大学)	現代イギリス文学演習	環境文学の観点から、D.H. ロレンスの作品を自然と人間のかかわり方に焦点を当て、ロマン主義作家のそれと比較しつつその独自性を明らかにする。同時に、ポストコロニアリズムやエコクリティシズムの視点からも同作家の特質を吟味する。

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	五百蔵高浩	1963	兵庫教育大学大学院連合博士課程単位取得退学	博士(学校教育学) (兵庫教育大学)	英語言語文化演習	日本人英語学習者の第2言語音韻および語形成能力習得研究 コーパス言語学的アプローチによる英語学習語彙に関する研究
教授	芋生 裕信	1953	関西学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	文学修士 (関西学院大学)	日本近現代文学演習	小川国夫の研究、志賀直哉の研究
教授	井本 正人	1949	京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学	経済学修士 (京都大学)	生活経営学,生活経済学	・公共交通 ・生活者サイドからの地域づくり論 ・平等の経済学的研究
教授	岩倉 秀樹	1960	広島大学大学院社会科学研究科法律学専攻博士課程後期単位取得退学	法学修士 (広島大学)	現代社会論	表現の自由、選挙法
教授	大村 誠	1958	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	博士(理学) (京都大学)	防災文化論、観光と自然環境 (共)自然災害と防災の科学	・防災全般(防災教育、地域防災、災害看護) ・人工衛星/航空機搭載合成開口レーダー(SAR)の応用 ・科学教育、サイエンスコミュニケーション
教授	佐藤 恵里	1948	早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了	博士(文学) (早稲田大学)	日本近世文学演習	近世文学・演劇に見る表現技法としての「やつし」、俄を中心とした芸能文化論
教授	鈴木 哲也	1955	東北大学大学院文学研究科	文学修士 (東北大学)	英米文化史	チャーサーの『カンタベリー物語』、中世ヨーロッパのキリスト教文化、大学生向けのキャリア教育
教授	橋尾 直和	1960	東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学	教育学修士 (鳴門教育大学)	日本語言語文化論演習	東アジアにおける地域言語(日本語諸方言・アイヌ語・琉球語)の文化環境言語学的研究
教授	東原 伸明	1959	国学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学	博士(文学) (名古屋大学)	平安朝文学演習	古事記、土佐日記、源氏物語の語りと言語・テキスト分析
教授	三浦 要一	1965	大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程修了	博士(学術) (大阪市立大学)	住生活学,住文化史	・伝統的集落・町並みの保存と生活空間計画 ・歴史的建造物の復元に関する調査研究 ・大阪の都市空間に関する住居史的・都市史的研究
准教授	金澤 俊吾	1973	東北大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了	博士(情報科学) (東北大学)	英語学	英語における形式と意味との対応関係に関する研究 英語における形容詞が関わる構文の意味的ネットワークに関する研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	鈴木 康郎	1969	筑波大学大学院博士課程教育学研究科	修士(教育学) 筑波大学	比較文化論演習	比較・国際教育学、東南アジアにおけるシティズンシップ教育、学校教育の国際交流
准教授	高西 成介	1968	広島大学大学院文学研究科博士課程後期単位取得満期退学	文学修士 (広島大学)	中国文学演習	六朝志怪小説、唐代伝奇小説の解説、およびそれらの作品を通して当時の社会・文化、および人々の心性の解明
准教授	山口 善成	1974	筑波大学大学院博士課程文芸言語研究科	文学修士 (筑波大学)	アメリカ文学演習	19世紀半ばのアメリカにおける国家史の誕生(とりわけ国家史の誕生と自然誌との関わりについて)
准教授	吉川 孝	1974	慶應義塾大学大学院文学研究科哲学倫理学専攻後期博士課程修了	博士(哲学) (慶應義塾大学)	哲学・倫理学	現象学派の倫理学、生き方の哲学、ケアの哲学
准教授	ジョエル・ヨース	1970	ルーヴェンカトリック大学日本学科 博士課程修了	博士(日本学)(ルーヴェン大学ベルギー)	日本思想史	自由民権運動、近代思想における「自由」
講師	飯高 伸五	1974	東京都立大学大学院社会科学研究科博士課程単位取得退学	博士(社会人類学) (東京都立大学)	文化人類学、民俗学、観光文化論	旧南洋群島における日本統治経験に関する歴史人類学的研究、アジア・太平洋戦争の記憶に関する民族誌的研究、アジア・太平洋地域における観光と文化復興に関する研究、沖縄出身者の同郷者集団の比較研究
講師	ローレン・ウォーラー	1974	京都府立大学文学研究科、米国コロンビア大学東アジア研究	文学修士(京都府立大学)、文学修士(コロンビア大学)	日本文学	話型(天人女房説話や地名起源説話)、万葉集伝説歌、上代文学の受容史
講師	向井真樹子	1976	ニューカッスル大学大学院 School of English & Linguistics	博士(言語学) (ニューカッスル大学)	言語学	英語、スカンディナヴィア諸言語族、日本語の複合語

## ○看護学部看護学科

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	畦地 博子	1964	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	精神看護学	精神科看護師のケア技術に関する研究
教授	池添 志乃	1965	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士課程修了	看護学博士 (高知女子大学)	学校保健・基礎看護学	生活の再構築に取り組む家族の介護キャリアに関する研究、子どもと家族の生きる力を支えるケアについての研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	池田 光徳	1959	岡山大学大学院医学研究科博士課程修了	医学博士(岡山大学)	専門基礎医学	長期臥床者の体表負荷のアセスメント、褥瘡の発症機序、唾液中のストレスバイオマーカー
教授	竹崎久美子	1960	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士(高知女子大学)	老人看護学	高齢者の「居がい」について、小規模デイサービスの場づくりとケア効果、高齢患者の自宅退院支援プログラムの開発、南海トラフ巨大地震準備期における災害看護
教授	時長 美希	1957	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士(高知女子大学)	地域看護学	アウトリーチによる保健師活動に関する研究 脆弱な対象者への地域看護介入に関する研究
教授	長戸 和子	1961	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士(高知女子大学)	基礎看護学・家族看護学	病者特に慢性疾患患者とその家族への看護、家族マネジメント力に関する研究
教授	中野 綾美	1958	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科博士課程満期退学	看護学博士(日本赤十字看護大学)	小児看護学	研究成果を実践に根付かせるための専門看護師を活用した臨床-研究連携システムの構築、病気の子ども・家族の医療への参画に関する研究
教授	野嶋佐由美	1950	カリフォルニア大学サンフランシスコ校看護学部博士課程修了	看護学博士(カリフォルニア大学)	基礎看護学	患者・家族への効果的な介入方法の開発および看護ケアにおける倫理的課題に関する研究
教授	藤田 佐和	1959	聖路加看護大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	博士(看護学)(聖路加看護大学)	総合看護学・がん看護学	在宅移行する終末期がん患者のエンパワメントを支える看護ケア指針の開発、研究-臨床連携システムによるがん患者の在宅移行エンパワメント看護介入の評価研究
教授	宮武 陽子	1949	大阪教育大学大学院教育研究科修士課程修了 高知女子大学健康生活科学研究科満期退学	学術修士(大阪教育大学)	慢性看護学	看護師の生涯教育システムの構築、慢性病者(糖尿病患者)のエンパワメントアプローチに関する研究
教授	森下 利子	1950	三重大学医学部衛生学講座衛生学専攻修了	医学博士(三重大学)	急性期看護学	がん看護領域におけるホリスティック・アプローチを基盤とするケアモデルの開発 在宅移行するがん患者のエンパワメントを支える看護ケア指針の開発
教授	森下 安子	1958	東京医科歯科大学医学系研究科博士前期課程修了	看護学修士(東京医科歯科大学)	在宅看護学	在宅生活の継続と自立を支援するケアマネジメント技術、在宅移行を支援に関する研究、災害看護支援ネットワークに関する研究
教授	松本 鈴子	1959	広島大学大学院医学系研究科博士後期保健学専攻(単位取得満期退学)	保健学博士(広島大学)	母性・助産看護学	女性の出産体験に伴うトラウマ後のレジリエンスに関する研究 助産学生の実践能力を高める教育方法に関する研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	山田 覚	1957	東海大学大学院工学研究科博士課程修了	工学博士(東海大学)	看護管理学	看護管理システムの分析と設計、看護サービスの質の向上と安定、災害看護支援ネットワークに関する研究
教授	藤田 冬子	1962	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士(高知女子大学)	老人看護学	高齢者の家族介護者の能力抗向上、高齢者のせん妄
准教授	大川 宣容	1967	千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程修了	看護学修士(千葉大学)	急性期看護学	がん患者のエンパワーメントを基盤とした在宅移行支援モデルの開発、手術患者の身体感覚を基盤とした生活の拡がりを支える看護援助モデルの開発、災害看護支援ネットワークの運用に関する研究
准教授	内川 洋子	1965	佛教大学教育学研究科生涯教育専攻修了	教育学修士(佛教大学)	看護管理学	看護におけるリーダーシップについて(看護師長、中堅看護師、看護師のリーダーシップ)、看護におけるチームワークについて、看護師に対するチームワーク教育プログラムの開発
准教授	川上 理子	1967	東京医科歯科大学医学系研究科博士前期課程修了	看護学修士(東京医科歯科大学)	在宅看護学	高齢者の在宅療養における家族介護者の看取り、地域を基盤とした在宅移行支援システムの開発、訪問看護師の質保証のためのプログラム検討
准教授	田井 雅子	1965	高知女子大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士(高知女子大学)	精神看護学	精神障害者の地域生活に向けた援助、統合失調症患者のセルフマネジメントに関する、家族看護エンパワーメントに関する研究
准教授	嶋岡 暢希	1969	日本赤十字看護大学大学院看護学研究科修士課程修了	看護学修士(日本赤十字看護大学)	母性・助産看護学	乳児期の子どもをもつ親への育児支援に関する研究
准教授	瓜生 浩子	1969	高知県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	看護学博士(高知県立大学)	基礎看護学	病気や障害をもつ人とともに生きる家族の体験や家族への看護に関する研究
准教授	佐東 美緒	1965	広島大学大学院医学系研究科博士前期課程保健学修士課程修了	保健学修士(広島大学)	小児看護学	NICUを退院したこともとその家族を支える看護に関する研究
准教授	鈴木 幹子	1961	聖徳大学大学院児童学研究科修士課程修了	児童学修士(聖徳大学)	母性・助産看護学	青年期の育児性
講師	石川 麻衣	1974	千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程修了	看護学博士(千葉大学)	地域看護学	公衆衛生看護の展開方法に関する研究 行政保健師の機能・役割および活動の特質に関する研究 災害時の保健活動に関する研究



職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
講師	廣川 恵子	1969	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	総合看護学・がん看護学	外来に通院しながら生活するがん患者の看護
講師	山中 福子	1963	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	慢性期看護学	慢性疼痛(非がん性)をもつ人への看護に関する研究 慢性心不全をもつ人への看護支援に関する研究
助教	井上 正隆	1978	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	急性期看護学	救命救急センター看護師、フライトナースを対象にしたメディカルシミュ レーターを使った教育プログラムの開発 バイオマーカーを用いたストレスの測定
助教	大坂 京子	1980	徳島大学大学院工学研究科 情報システム工学専攻博士 後期課程修了	工学博士(徳島大学)	老人看護学	認知症高齢者のBPSDとつながり感に関する研究
助教	下元 理恵	1972	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士(高知女子 大学)	慢性期看護学	慢性心不全患者の自己管理に関する研究
助教	高谷 恭子	1975	高知女子大学大学院健康生 活科学研究科博士後期課程 修了	看護学博士 (高知女子大学)	小児看護学	病気とともに生きる子どもと家族が辿る軌跡に関する研究
助教	升田 茂章	1975	神戸市看護大学大学院看護 学研究科修士課程修了	看護学修士 (神戸市看護大学)	基礎看護学	疼痛緩和への看護技術の効果に関する研究、看護ケアによって及ぼ される生体の自律神経系の変化に関する研究、家族看護に関する研 究
助教	首藤ひとみ	1981	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	小児看護学	医療的ケアの必要な子どもと家族への支援に関する研究
助教	小原 弘子	1971	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	在宅看護学	地域・病院協働型在宅移行支援システムの開発 在宅移行期における訪問看護師の判断とケアのガイドラインの開発
助教	小澤 若菜	1974	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	地域看護学	生活習慣病予防、働く人の健康づくりに関する研究
助教	岩崎 順子	1970	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	母性看護学	乳児を抱える母親の Maternal Confidence についての研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助教	坂元 綾	1966	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	基礎看護学	スタッフ育成における病棟看護師長の役割遂行を促進する教育プログラムの開発
助教	畠山 卓也	1973	東京女子医科大学大学院 看護学研究科博士後期課程 単位取得満期退学	看護学修士 (東京女子医科大学)	精神看護学 対人関係論	①精神科看護師のアイデンティティ形成に影響をもたらすケアの経験 ②精神科保護室における看護実践 ③病気を抱えた家族をエンパワメントする看護実践 ④避難所で活動した看護師の看護実践
助教	槇本 香	1982	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	精神看護学	精神科看護者が精神疾患をもつ人との間で用いている心理的距離の持ち方を明らかにすること
助教	石井 歩	1981	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	総合看護学・がん看護学	青年期・壮年期など若い世代、働き盛りの世代のがんサバイバーとそ のご家族を支援する看護ケアに関すること
助教	芝崎 恵	1979	徳島大学保健科学教育部保 健学専攻博士前期課程修了	看護学修士 (徳島大学)	母性看護学、助産看護学	若年層の性的予防行動について、全ての年齢層における性の課題
助教	潮 由美子	1978	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	老人看護学	在宅移行期のシームレスケアに向けた病棟看護師と訪問看護師の協 働のガイドライン
助教	大西ゆかり	1967	高知県立大学大学院健康生 活科学研究科博士後期課程 修了	看護学博士 (高知県立大学)	慢性期看護学	リンパ浮腫と共に生きる患者の看護
助教	川本 美香	1977	高知県立大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知県立大学)	地域看護学	人々の健康づくりについて
助教	岩井弓香理	1982	高知県立大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知県立大学)	基礎看護学	脳血管障害による後遺症をもつ人の家族への看護について
助教	野島 真美	1983	杏林大学大学院国際協力研 究科修士課程修了	国際医療協力学修士 (杏林大学)	急性期看護学	災害救援者のストレス反応とストレスマネジメントの研究 救急救命センターでの家族看護
助教	三好美映子	1974	香川大学大学院医学系研究 科修士課程修了	看護学修士 (香川大学)	母性・助産看護学助産看護 学	働く女性の妊娠・出産・育児に関すること 女性のメンタルヘルスケアに関すること

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
助教	森下 幸子	1961	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	在宅看護学	在宅療養者を抱える家族の Family Strengths に関する研究 医療ニーズの高い在宅療養者の家族の強みを支援する看護介入プログラム の開発
特任教授	中山 洋子	1948	Oregon Health Sciences 大学博士課程修了	看護学博士 (Oregon Health Sciences大学)	精神看護・災害看護学	東日本大震災における放射線災害とメンタルヘルスケアに関する研究 東日本大震災による精神科医療の崩壊とシステムの再構築 精神障害者の Self-care Assessment Tool の開発とその臨床活用 精神障害者の退院促進・地域ケアのあり方に関する研究 キャリア後期看護師の実践能力の開発とその活用
特任准教授	神原 咲子	1977	岡山大学大学院医歯学総合 研究科国際環境科学講座公衆衛生学 博士課程修了	医学博士 (岡山大学)	国際・災害の公衆衛生	災害×国際×公衆衛生 + 看護=要相談
特任助教	有田 直子		高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	小児看護学	病気を持つ子どもと家族の意思決定に関すること
特任助教	弘末 美佐	1973	高知女子大学大学院看護学 研究科修士課程修了	看護学修士 (高知女子大学)	がん看護学	在宅がん看護, 在宅緩和ケア

## ○ 社会福祉学部社会福祉学科

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	杉原 俊二	1963	香川医科大学大学院医学研究科 環境生態系専攻博士課程	博士(医学) (香川医科大学)	児童福祉論・面接技法	ナラティブアプローチによる対人援助、自分史分析とその応用
教授	田中きよむ	1962	京都大学大学院経済学研究科 博士後期課程単位取得退学	経済学修士 (滋賀大学)	社会保障論	人間発達理論に基づく社会保障制度の再構築、住民主体の福祉型地域 づくりの形成要因と発展プロセス、「小さな拠点」を軸とする住民共生 型地域づくりの形成要因と持続モデル
教授	長澤紀美子	1963	新潟大学大学院現代社会文化 研究科博士後期課程修了	博士(学術) (新潟大学)	国際福祉論、現代社会と福祉、 女性福祉論	欧米(特にイギリスを中心とした)介護政策の動向、福祉(介護)サービスの 評価・アウトカム評価、行政評価、NPM(ニュー・パブリック・マネジメン ト)政策の保健医療福祉分野への適用
教授	林 美朗	1958	富山医科薬科大学医学部北海道 大学大学院文学研究科	博士(医学)(文学) (北海道大学)	精神医学、精神保健学、人 体の構造と機能及び疾病	芸術精神医学(病跡学・芸術療法学)、仏教社会福祉学、社会精神医学、 精神病理学、精神医学史学、精神科診断学
教授	前山 智	1949	大阪大学大学院工学研究科 修士課程修了	博士(工学) (東北大学)	社会福祉特別演習I	情報教育

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	丸岡 利則	1952	大阪府立大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (大阪府立大学)	相談援助の基盤と専門職	理論福祉学の確立に向けた学問的枠組みと方法
教授	宮上多加子	1958	高知女子大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知女子大学)	介護過程・発達と老化の理解・こころとからだのしくみ	福祉分野の専門職養成教育とキャリア意識
准教授	黒田しづえ	1950	大阪人間科学大学大学院人間科学研究科社会福祉修士課程修了	修士(人間科学) (大阪人間科学大学)	介護過程・介護の基本・生活支援技術	ケアの在り方と実践方法
准教授	後藤由美子	1950	花園大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (花園大学)	介護の基本、生活支援技術	介護人材の教育に関する研究、外国人介護者の就労支援に関する研究
准教授	鈴木 孝典	1974	大正大学大学院人間学研究科博士後期課程福祉・臨床心理学専攻単位取得後退学	博士(人間学) (大正大学)	精神保健福祉論・精神保健福祉援助実習	精神障害者の居住支援に関する研究、障害者ケアマネジメント従事者の養成に関する研究、PSWの実践評価に関する研究
准教授	西内 章	1972	関西福祉科学大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程修了	博士(臨床福祉学) (関西福祉科学大学)	事例研究法・相談援助実習指導	高齢者生活支援におけるソーシャルワークの展開方法に関する研究、エコシステム視座に基づくチームアセスメント支援ツールの研究
准教授	山村 靖彦	1967	高知県立大学大学院健康生活科学研究科博士後期課程修了	博士(社会福祉学) (高知県立大学)	地域福祉の理論と方法・コミュニティソーシャルワーク	社会的孤立の防止に寄与する社会関係資本の評価に関する研究、「小さな拠点」を軸とする地域づくりに関する研究、「むら納め」・「むらの最期」をめぐる研究
講師	遠山 真世	1974	東京都立大学社会科学研究科博士課程修了	博士(社会福祉学) (東京都立大学)	障害者に対する支援と障害者自立支援制度・相談援助実習指導	障害者の雇用促進・就労支援にかんする研究
講師	西梅 幸治	1978	京都府立大学大学院福祉社会学研究科博士後期課程修了	博士(福祉社会学) (京都府立大学)	相談援助の理論と方法・相談援助実習指導	ソーシャルワークにおけるエンパワメント実践に関する研究、エコシステム視座に基づくコンピュータ支援ツールの研究
講師	鳩間亜紀子	1972	日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程修了	修士(社会福祉学) (日本社会事業大学)	高齢者に対する支援と介護保険制度	訪問介護サービスにおける生活援助に関する研究
講師	福間 隆康	1970	広島大学大学院社会科学研究科博士課程後期マネジメント専攻修了	博士(マネジメント) (広島大学)	福祉サービスの組織と経営	障害者雇用の組織マネジメントに関する研究

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
講師	三好 弥生	1965	立命館大学大学院社会学研究科博士前期課程修了	修士(社会学) (立命館大学)	コミュニケーション技術・生活支援技術Ⅱ	高齢者の看取りに関する研究
助教	稲垣 佳代	1983	高知女子大学大学院人間生活学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (高知女子大学)	精神保健福祉援助技術各論	精神障害者の就労支援に関する研究
助教	加藤 由衣	1982	京都府立大学大学院福祉社会学研究科博士後期課程修了	博士(福祉社会学) (京都府立大学)	相談援助の理論と方法・相談援助実習指導	ソーシャルワーク教育の包括的な教育展開に関する研究、ソーシャルワークにおける現任教員方法の研究
助教	鈴木 裕介	1980	大正大学人間学研究科社会福祉学専攻修士課程修了	修士(社会福祉学) (大正大学)	医療ソーシャルワーク論	地域における高齢者の医療・福祉のフェルトニーズに関する研究
助教	田中 眞希	1976	高知女子大学大学院人間生活学研究科修士課程修了	修士(社会福祉学) (高知女子大学)	生活支援技術・介護総合演習	介護職の養成教育及び現場教育とキャリア意識
助教	二本柳 覚	1980	日本福祉大学大学院社会福祉学研究科福祉マネジメント専攻修士課程修了	修士(福祉マネジメント) (日本福祉大学)	精神科リハビリテーション学	質の高い社会福祉専門職養成教育のあり方に関する研究
助教	橋本 力	1979	大阪市立大学大学院生活科学研究科後期博士課程単位取得後退学	博士(学術) (大阪市立大学)	社会調査の基礎 高齢者に対する支援と介護保険制度	ケアマネジメントにおけるインフォーマル・サポート活用に関する研究

## ○ 地域教育研究センター

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	一色 健司	1958	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	理学博士(京都大学)	基礎化学、地球の科学	・環境水中の微量元素を指標とした環境動態の解明・微量元素の超高感度分析法・存在状態の解析法の開発
教授	宇野 浩三	1952	北海道大学大学院工学研究科博士後期課程単位取得退学	工学博士 (北海道大学)	居住環境論、住まいと健康と安全、住居学	・住まい・まち・環境教育 ・水切瓦・水切庇と土佐漆喰 ・住宅・住様式の地域性 ・住宅・住環境におけるユニバーサルデザイン
教授	萩沼 一男	1950	広島大学大学院理学研究科博士課程退学	理学博士(広島大学)	基礎生物学	・ハマボッスの染色体多型の解明

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
教授	清原 泰治	1961	筑波大学大学院修士課程体育研究科体育方法学専攻	体育学修士 (筑波大学)	健康スポーツ科学I・II	1950～60年代における市町村民運動会の社会的機能に関する研究 高知県の中山間地域の活性化と大学教育
教授	羽田 行男	1954	早稲田大学大学院教育学研究科博士課程後期単位取得退学	教育学修士 (東京学芸大学)	発達心理学、教育心理学、 教育相談論、生徒指導論	教育相談における心理臨床にもとづいた事例研究 発達に課題がある子どもに対する心理学的教育方法の研究
准教授	團野 哲也	1956	東京工業大学大学院理工学研究科博士課程修了	工学博士 (東京工業大学)	人間の安全保障と国際協力、 くらしのなかの光	・材料の分光学的キャラクタリゼーション ・パレスチナ難民に対する家庭科教育の調査研究

## ○ 総合情報センター

職名	氏名	生年	最終学歴	学位(大学名)	主たる担当科目	現在の研究テーマ
准教授	風間 裕	1959	北海道大学大学院理学研究科博士課程修了	理学博士 (北海道大学)	物理学通論、量子物理学	・コンピュータを用いた物理学の教材開発・軽い核の構造解析
助教	名和 真一	1963	京都大学大学院理学研究科博士後期課程単位取得退学	理学博士(京都大学)	情報処理概論、コンピュータリテラシ	・核力と量子色力学(QCD)、計算機物理

## 【大学院】(平成26年3月31日現在)

## ○看護学研究科&lt;修士課程&gt;

領域	職名	氏名	主たる担当科目
-	教授	森下利子	成人看護ケア研究、臨床看護学研究演習、臨床看護学研究方法I・II
-	教授	野嶋佐由美	看護理論と実践、看護研究と実践、精神看護論
-	教授	宮武陽子	慢性看護対象論、慢性看護方法論I・II、慢性看護学実践演習
-	教授	中野綾美	小児看護論、小児看護対象論、小児看護方法論I・II
-	教授	山田 覚	看護管理論、システム経営管理論、看護サービス管理論
-	教授	藤田佐和	がん看護論、がん看護方法論、看護倫理、がん看護学実践演習
-	教授	時長美希	地域看護論、地域看護展開論I・II、地域ケア研究
-	教授	長戸和子	家族看護論、家族看護援助論、家族ケアの開発、家族看護学実践演習
-	教授	森下安子	在宅看護論、在宅看護展開論、在宅看護学実践演習
-	教授	竹崎久美子	老人看護論、老人看護展開論、老人看護課題研究、看護倫理
-	教授	畦地博子	精神看護論、精神看護対象論、精神看護実践演習
-	教授	池田光徳	病態生理学、フィジカルアセスメント特論、がん病態生理学
-	教授	池添志乃	看護理論と実践、家族看護学実践演習、学校保健研究
-	教授	松本鈴子	母性、助産看護ケア研究
-	教授	藤田冬子	老人看護対象論、老人看護展開論、老人看護学実践演習
-	特任教授	中山洋子	看護学の動向と展望
-	准教授	川上理子	在宅看護展開論I、在宅看護学実践演習
-	准教授	田井雅子	精神看護学実践演習、精神看護ケア研究、精神看護展開論
-	准教授	瓜生浩子	家族と病気、家族看護学実践演習、家族ケアの開発
-	准教授	内川洋子	看護管理展開論、看護サービス管理論、臨床看護管理研究
-	准教授	佐東美緒	小児看護対象論、小児看護方法論I・II、小児看護学実践演習
-	講師	廣川恵子	がん看護方法論II・III、がん看護学実践演習
-	助教	畠山卓也	精神看護学実践演習

## ○人間生活学研究科&lt;修士課程&gt;

領域	職名	氏名	主たる担当科目
共通	教授	前山 智	課題研究演習、特別講義V(データ解析論)
共通	教授	谷本真二	課題研究演習、特別講義V(データ解析論)
共通	准教授	團野哲也	課題研究演習、特別講義IV(生活環境論)
生活	教授	荻沼一男	課題研究演習、人間生活健康情報論、環境生態論
生活	教授	川村美笑子	課題研究演習、人間生活論演習I、健康栄養論II
生活	教授	宇野浩三	課題研究演習、住環境論
生活	教授	一色健司	課題研究演習、環境解析論
生活	教授	大村 誠	課題研究演習、地域防災論
生活	教授	渡邊浩幸	課題研究演習、人間生活論演習I、食品総合科学論
生活	教授	逸見幾代	食生活論I、食生活論II、食生活論演習
生活	教授	和田安彦	課題研究演習、人間生活情報論、健康動態論、栄養・生活統計論
生活	教授	中村富予	課題研究演習、人間栄養論I
生活	教授	三浦要一	課題研究演習、人間生活福祉政策論、住生活論

領域	職名	氏名	主たる担当科目
福祉	教授	杉原俊二	課題研究演習、児童福祉論
福祉	教授	田中きよむ	課題研究演習、人間生活福祉政策論、福祉行財政論
福祉	教授	宮上多加子	課題研究演習、人間生活論演習Ⅱ、介護福祉論
福祉	教授	長澤紀美子	課題研究演習、人間生活福祉政策論、国際福祉政策論
福祉	准教授	西内章	人間生活論演習Ⅱ、ソーシャルワーク論
福祉	准教授	鈴木孝典	人間生活論演習Ⅱ、障害者福祉論、精神保健福祉論
文化	教授	佐藤恵里	課題研究演習、地域文化論Ⅰ
文化	教授	青木晴男	課題研究演習、英米文化論Ⅰ、人間生活文化論、人間生活論演習Ⅲ
文化	教授	井本正人	課題研究演習、地域文化論Ⅱ
文化	教授	芋生裕信	課題研究演習、日本文化論Ⅱ、人間生活文化論
文化	教授	東原伸明	課題研究演習、日本文化論Ⅰ、人間生活論演習Ⅲ
文化	教授	五百蔵高浩	課題研究演習、人間生活文化論、人間生活論演習Ⅲ、英米文化論Ⅱ
文化	准教授	金澤俊吾	人間生活論演習Ⅲ、英語学特論Ⅰ・Ⅱ
文化	准教授	山口善成	人間生活文化論、米文学特論Ⅰ・Ⅱ、英語言語文化論演習Ⅱ
文化	准教授	ジョエル・ヨース	人間生活文化論、国際日本学特論

## ○健康生活科学研究科&lt;博士課程&gt;

領域	職名	氏名	主たる担当科目
共通	教授	佐藤恵里	身体表現論
看護	教授	野嶋佐由美	看護学特別研究、看護科学と理論、看護科学と研究Ⅰ
看護	教授	山田覚	看護学特別研究、看護システム経営論、看護科学と研究Ⅱ
看護	教授	中野綾美	看護学特別研究、小児看護論
看護	教授	藤田佐和	看護学特別研究、看護科学と理論、看護科学と倫理、がん看護論
看護	教授	森下利子	成人看護論
看護	教授	時長美希	看護学特別研究、地域看護論
看護	教授	長戸和子	看護学特別研究、家族看護論Ⅱ
看護	教授	池田光徳	看護学特別研究、生命科学論
看護	教授	畦地博子	精神看護支援論
看護	教授	池添志乃	学校保健支援論
看護	特任教授	中山洋子	精神看護論
生活	教授	川村美笑子	生活科学特別研究、栄養生理論
生活	教授	荻沼一男	生活科学特別研究、環境生態論
生活	教授	大村誠	地球環境解析論
生活	教授	宇野浩三	生活科学特別研究、居住環境論
生活	教授	中村富予	臨床栄養論
福祉	教授	宮上多加子	社会福祉学特別研究、介護支援論
福祉	教授	杉原俊二	社会福祉学特別研究、児童・家族福祉論



## 【非常勤講師】(平成25年4月1日現在)

	氏 名	専門分野(担当科目)
文 化 学 部	柳 川 平太郎	西洋史
	安 藤 恵 崇	比較宗教学
	岡 崎 帛	書道
	内 田 洋 子	NPO論
	間 章	NPO論
	中 島 久 枝	比較日本学I
	ジェニー・カーン	比較日本学II
	アンドリュー・ダラム	中級英語スピーキング・上級英語スピーキング
	松 吉 明 子	日本語コミュニケーションI・国際日本学V・VI
	今 井 多衣子	日本語教育実践研究I・II・日本語教育学I・II
	池 純 子	日本語教育学I
	廣 田 佳 久	考古学
	池 谷 江理子	ジェンダー論・ジェンダー論講読B
	フーク・シュテファン	ドイツ語初級I・II
	斎 藤 昌 人	ドイツ語中級I・II
	安 藤 麻 貴	フランス語初級I・II・フランス語中級I・II
看 護 学 部	是 永 正 敬	微生物学
	小 松 利 広	微生物学
	清 水 孝 洋	薬理学
	山 口 奈緒子	人体のしくみI-A・I-B
	谷 口 睦 男	人体のしくみII-A・II-B
	藤 田 博 一	心のしくみ
	明 神 和 弘	心のしくみ
	上 村 直 人	心のしくみ
	泉 本 雄 司	心のしくみ
	澁 谷 祐 一	病態と治療II
	三 宅 陽一郎	病態と治療II
	小 野 憲 昭	病態と治療II
	福 井 直 樹	病態と治療II
	寺 石 文 則	病態と治療II
	尾 崎 和 秀	病態と治療II
	田 村 耕 三	病態と治療II
	大 森 貴 夫	病態と治療II
	砥 谷 和 人	病態と治療I
	高 橋 美 枝	病態と治療I
	福 井 康 雄	病態と治療I
	細 木 信 吾	病態と治療I
	菅 野 尚	病態と治療I
	上 村 由 樹	病態と治療I
	土 山 芳 徳	病態と治療I
	森 田 雅 範	病態と治療I
	宮 本 真太郎	病態と治療I
	熊 田 孝 恒	行動科学
	菅 沼 成 文	公衆衛生学
	弘 田 量 二	公衆衛生学
	栄 徳 勝 光	公衆衛生学
佐 藤 純 一	生命の科学と倫理	
松 本 女 里	医療史	
岡 谷 恵 子	看護と政策	

	氏 名	専門分野(担当科目)
看護学 部	手 島 恵	看護学の動向と課題
	武 田 明 雄	医療と経営
	渡 辺 慶 子	医療と経営
	深 田 順 一	医療と経営
	谷 木 利 勝	医療と経営
	服 部 暁 昌	医療と経営
	久保田 加代子	医療と経営
	宮 本 寛	在宅医療
	川 添 哲 嗣	在宅医療
	松 本 務	在宅医療
	堀 川 俊 一	健康管理論
	豊 田 誠	健康管理論
	菅 沼 成 文	健康管理論
	吉 川 清 志	小児と疾患
	中 田 裕 生	小児と疾患
	金 澤 亜 錦	小児と疾患
	西 内 律 雄	小児と疾患
	宮 澤 真 理	小児と疾患
	丸 山 秀 彦	小児と疾患
	佐々木 潔	小児と疾患
	南 晋	母性学
	松 本 光 弘	母性学
	小 松 淳 子	母性学・助産学
	永 井 立 平	母性学・危機管理(周産期医療)
	山 本 寄 人	助産学
	甲 斐 由 佳	助産診断論
木 下 宏 実	母性学・危機管理(周産期医療)	
林 和 俊	助産学・危機管理(周産期医療)	
社会福祉学部	野 中 由 彦	就労支援サービス
	玉 里 恵美子	社会理論と社会システム
	宮 本 博 之	更正保護制度
	上 村 幸 雄	権利擁護と成年後見制度
	川 崎 育 郎	心理学理論と心理学支援
	間 章	福祉NPO論
	住 友 雄 資	福祉研究法・実践記録法・スーパービジョン
上白木 悦 子	ケアマネジメント論・医療福祉論	
健康栄養学部	中 西 三 紀	フードシステム学
	大 倉 三 洋	運動生理学
	網師本 真 季	こころと身体活動
	川 崎 育 郎	保育学
	森 岡 美 帆	介護論・食と介護
	清 澤 秀 孔	生化学I・II
富 永 麻 理	生化学実験	
共通教養教育科目	池 田 和 夫	心の科学
	門 脇 加江子	芸術論I
	松 本 教 仁	芸術論II
	常 行 泰 子	健康スポーツ科学I
	宮 本 隆 信	健康スポーツ科学II
	清 水 直 樹	日本現代史
池 純 子	中国語初級I・II・中国語中級I・II	

	氏 名	専門分野(担当科目)
共通 教養 教育 科目	青野篤子	ジェンダー学入門
	松吉明子	英語コミュニケーションⅠ
	吉門牧雄	英語コミュニケーションⅠ
	吉岡葉子	英語コミュニケーションⅠ
	松原史典	英語コミュニケーションⅠ
	吉田祐子	英語コミュニケーションⅠ
	福江等	英語コミュニケーションⅠ
	宮本祥子	英語コミュニケーションⅠ
	李賢珠	英語コミュニケーションⅠ
	福江満子	英語コミュニケーションⅠ
	岩郷浩二	英語コミュニケーションⅠ
	アンドリュー・ダラム	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ
	クレイグ・デレイニー	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ
	ジュニー・カーン	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ
	マイケル・シャープ	英語コミュニケーションⅠ・Ⅲ
	サイモン・クインラン	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ
	ショーン・バーゴイン	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ
マイケル・ロバートソン	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ	
教職 課程	中澤勇夫	人権教育に関する科目
	市村藤一	特別活動論
	堅田美穂	国語科教育法Ⅰ・Ⅱ
	小島郷子	家庭科教育法Ⅲ
	島田希	教育課程論・教育カリキュラム開発論
学芸員 養成 課程	横田恵	博物館学Ⅰ
	廣田佳久	博物館学Ⅱ
	奥野克仁	博物館学Ⅲ
	岡本桂典	博物館実習講義
	中村茂生	生涯学習概論
	大野加恵	視聴覚メディア教育論

## ※ 臨床教授

高知医療センター

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

高知赤十字病院

高知大学医学部附属病院

近森会

高知県

高知県

病院長

副院長・医療情報センター長

副院長・感染対策センター長

副院長・総合周産期母子医療センター長

副院長・こころのサポートセンター長

救命救急センター長

がんセンター長

循環器病センター長

地域医療センター長

看護局長

看護局次長

看護局次長

栄養局長

看護部長

看護部長・副院長

常任理事・看護部長

健康政策部医監・中央東福祉保健所長

健康政策部健康長寿政策課企画監

武田明雄

深田順一

谷木利勝

吉川清志

山下元司

喜多村泰輔

森田莊二郎

岡部学

西岡豊

久保田加代子

森田智子

田村眞知

渡邊慶子

大西須美子

楠瀬伴子

梶原和歌

田上豊資

山本雅子

## ※ 客員教授

サミュエル・メリット大学看護学部

教授

近藤房恵